

大学の世界展開力強化事業(平成27年度採択) 新潟大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度27年度・主たる交流先(トルコ))

経験・知恵と先端技術の融合による、防災を意識したレジリエントな農学人材養成

【事業の概要】

本事業は、農学と防災・復興の教育研究で実績を有する新潟大学・福島大学・アンカラ大学・エーゲ大学・中東工科大学がそれぞれの強みを結集した相補的・相乗的連携のもとで、農業先端技術に加え、日土両国の経験・知恵を尊重する農食・防災技術を日土学生が共に学び、様々な困難や課題にグローバルな視点でしなやかに対応できる能力＝レジリエンスを身につけた農学人材養成を行うことを目的とする。本事業で育成される人材は日土両国だけでなく、中東・北アフリカ・中央アジア諸国において、災害を意識した農業インフラ整備、先端的農業技術による高品質な農産物生産、有機農業による持続的な農業発展、食品の相互流通において先導的な役割を果たし、次世代の農食産業の創出をリードし、我が国のプレゼンス強化に大きく貢献する。



【交流プログラムの概要】

本事業では、「グローバル農力養成プログラム」と「グローバル防災・復興プログラム」の2プログラム(短・中・長期コース)を設定する。日本・トルコ両国が持つ経験・知恵と先端技術を、両プログラム共通の科目や農業・災害復興現場の視察を中心とした特別演習などを通じて学び、農・食・防災・復興の複合的視点の醸成を図る。短期コースは、ローカルな課題をグローバルな視点から議論し解決策を提案するグローバルな課題解決型(GLocal Project-Based-Learning)プログラムとする。中・長期コースは特定課題追求型として、受入学生には非常食・災害食を得意とするホリカフーズ(株)等、派遣学生には大規模有機農業企業Rapunzel社等でのインターンシップを用意する。事業期間内にダブルディグリープログラム(DDP)の開始を目指す。

【本事業で養成する人材像】

- ①他国の経験・知恵を尊重し、それらを先端技術と共に有効に活用して課題を解決できる人材
- ②トルコや我が国、ひいては世界の農食発展、防災・復興に貢献し、経済発展に資するグローバル人材

【本事業の特徴】

日土5大学がそれぞれの強みを発揮し、農・食・防災・復興分野の視点を組合せてレジリエンスを発揮するグローバル農食人材の育成と教育フレームワークの構築が実現することである。

【交流予定人数】

	H27	H28	H29	H30	H31
学生の派遣	2	21	21	26	26
学生の受入	2	21	21	26	26